

AtomicDesign

フロントエンド界限、UI/UXデザイン界限でよく取り上げられるデザイン手法です。

仕事で直接的に触れることは少ないですが、知識として知っておけばなぜそう言った実装をしているのかが見えてくるので覚えておいてください。

AtomicDesign

AtomicDesignとは

画面を構成する要素を、原子（Atom）分子（molecule）有機体（organism）テンプレート（Templates）ページ（Pages）の5つの階層に分け、最終的なUIとUIの基礎となるデザインシステムを同時に作成する設計方法で、アメリカのWebデザイナーBrad Frostブラッド・フロスト氏が考案・提唱しました。

分かりやすく解説しているサイトがあるのでまずはこれを読んでください。

AtomicDesign分かったつもりになる

Webサイト事態は1つのページですが、それをheader、main、footerに分けることができます。

その中にはボタンや、入力フォームが配置されていることもあるかと思います。

なのでその最小単位から作って構成する考え方です、

ボタンや入力フォームはモジュール化させやすいのでそれを共通化させることもできます。

とくに「Vue」、「React」、「Angular」などといったJSのフレームワークではコンポーネント思想があるのでそことAtomicDesignの親和性がかなり高いです。

課題

下記のサイトを見てheader、main、footerを分けてください。（それぞれの親要素のid名、class名を記述してください。）

その中からheaderを分子、原子に分けてください。まとめ方はお任せします。

Enjin